



福岡市議会議員〈南区〉

# 近藤さとみ

いきいき便り

Vol.4  
2016  
SPRING



\\イキイキ\\ 豊かな「まちづくり」

発行者：福岡市議会議員 近藤里美 〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市庁舎議会棟 福岡市民クラブ議員控室  
TEL:092-711-4736 FAX:092-732-4055 E-mail:satomi-kondo@fukuokashimin.jp URL http://kondo-satomi.jp

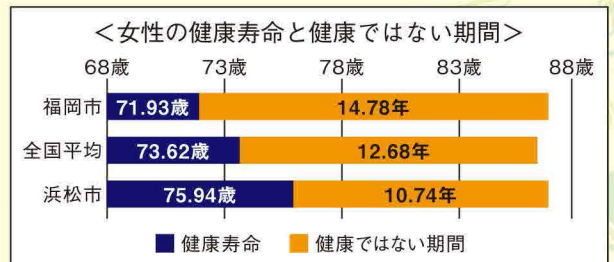
## 福岡市女性の健康寿命「72歳」を全国平均「74歳」以上に！ ～平成28年度第1回定例議会 条例予算特別委員会 総会質疑～



平成28年度第1回定例議会2月18日(木)～3月25日(金)が召集され、平成28年度予算案、条例の改正等45議案など、全112議案について審議しました。近藤さとみは、福岡市民クラブを代表して条例予算特別委員会総会にて、「福岡市における健康寿命の延伸施策について」質疑を行いました。

平成28年度一般会計予算案では、歳出増の要因として社会保障関係費用の増が挙げられています。一般会計から国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計への繰出金は年々増加しており、平成28年度は368億円余で、今後も増えていくことが想定されています。超少子高齢化社会に向けて、医療や介護にかかる費用の拠出が抑えられることは、市の財政負担を軽減することはもちろん、私たち市民にとっても「健康で長生き」できることとなり、大変喜ばしいことです。

最近よく耳にする「健康寿命」という言葉は、厚生労働省によると「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されています。直近のデータによると福岡市の男性については全国平均とほぼ同じ健康寿命であるのに対し、女性は全国平均と比べ約2年、大都市の中で1位の浜松市とでは約4年と、大きな開きがある状況です。(グラフ参照)



福岡市の高齢女性の傷病トップ5は右の通りで、全体の半分以上を占める第3位までの疾患は、生活習慣との関連が深いとされています。生活関連の調査によると、実は福岡市の女性は全国平均に比べて喫煙率が高く、飲酒率も高いというデータが出ています。こういった点が全国平均よりも健康寿命が短い理由の一つになっているのかもしれませんが。

現段階では、なぜ福岡市の女性が全国平均よりも健康寿命が短く健康ではない期間が長いのか、はっきりとした原因はわかっておらず、真の「元気なまち福岡」の実現に向けて、原因の追究と、40代・50代の比較的若い世代から取り組める健康増進施策の実施について、強く要望しました。

- 1位 高血圧症等の循環器系の疾患(26.0%)
- 2位 関節症等の筋骨格系及び結合組織の疾患(16.1%)
- 3位 糖尿病等の内分泌、栄養及び代謝疾患(10.0%)
- 4位 白内障等の眼及び付属器の疾患(9.7%)
- 5位 胃炎、十二指腸炎等の消化器系の疾患(8.9%)

### 春の市政報告会を開催します！

平成28年度予算や特筆すべき事業内容など、ご報告いたします。  
所要時間は1時間～1時間半の予定で、参加費は「無料」です。

●5月17日(火)18:30～アミカス視聴覚室